令和７年消防団表彰者

※一部敬称略

消防長官表彰
副団長　甲斐　圭二（団本部）

県知事表彰
分団長　興梠　竜一（第1分団本部）
分団長　坂本　卓之（第2分団本部）
分団長　工藤　慎一郎（第3分団本部）
分団長　田上　幸生（第4分団本部）

家族表彰（感謝状）
甲斐　マキ 様（団本部副団長　甲斐 圭二）

日本消防協会長表彰
精績章
分団長　戸髙　康弘（団本部）
分団長　佐藤　剛（団本部）
勤続章
分団長　戸髙　康弘（団本部）
分団長　佐藤　剛（団本部）
団　員　甲斐　文照（第2分団第2部）

県消防協会長表彰
功績章
分団長　佐藤　康啓（団本部）
分団長　村上　辰生（団本部）
精績章
副分団長　甲斐　愛享（第1分団本部）
副分団長　坂本　将丈（第2分団本部）
副分団長　佐藤　尊文（第3分団本部）
副分団長　中野　大輔（第3分団本部）
副分団長　林　雄二（第4分団本部）
副分団長　佐藤　宏紀（第5分団本部）
団員　橋本　洋平（第1分団第1部）
団員　田﨑　宗之（第1分団第2部）
団員　田上　一仁（第4分団第2部）
団員　田上　貴人（第4分団第2部）

家族協力者表彰（感謝状）
工藤　愛 様（第3分団分団長　工藤 慎一郎）
興梠　聖子 様（第1分団分団長　興梠 竜一）

県消防協会
西臼杵支部長表彰（勤続15年）
■部長
第5分団第2部　佐藤　浩
■班長
第3分団第3部　甲斐　健太
第3分団第4部　坂本　優太
第3分団第4部　佐藤　浩之
■団員
第1分団機動部　甲斐　元氣
第1分団第2部　松並　翔
第2分団第1部　佐藤　大介
第3分団第1部　甲斐　良太
第1部　甲斐　智樹
第3分団第2部　佐藤　美彰
第2部　佐藤　翔馬
第3部　森下　敬道
第3部　佐藤　圭二
第4分団第1部　壷田　和宏
第1部　甲斐　克己
第2部　松野　孝則
第2部　佐藤　清崇
第2部　工藤　瑞紀
第5分団第1部　梅本　和弘
第1部　野尻　陽介
第1部　工藤　亮太
第5分団第2部　西田　忠之
第3分団第2部　霾野　誉暢
第4分団第1部　甲斐　忍
第5分団第2部　坂本　健悟

団長表彰（勤続10年）
■班長
第2分団第1部　飯干　大介
第2分団第2部　飯干　敦士
■団員
第1分団第1部　橋本　晶平
第1部　田﨑　翔太郎
第1部　甲斐　勇磨
第1分団第2部　寳田　真一
第2部　児玉　龍之介
第2分団第1部　興梠　裕昭
第4分団第1部　中尾　貴弥
第2部　河内　智
第5分団第1部　馬﨑　太志
第1部　尾﨑　将人

町長表彰
永年勤続表彰（勤続25年）
■副団長
団本部　甲斐　圭二
■分団長
団本部　佐藤　毅志
第3分団本部　工藤　慎一郎
■副分団長
第1分団本部　平野　竜寛
■団員
第1分団第2部　藤本　圭司
第2分団第1部　佐藤　一隆
第1部　藤﨑　優
第3分団第3部　渡邊　竜太
第4分団第1部　戸髙　弘之
第5分団第1部　佐藤　定規

永年勤続表彰（勤続20年）
■分団長
第2分団本部　坂本　卓之
■副分団長
第2分団本部　吉田　竜太
■部長
第3分団第4部　佐藤　省三
第4分団第2部　安在　直
■班長
第1分団機動部　坂本　和隆
第2部　甲斐　裕一
■団員
第2分団第1部　冨髙　浩二
第3分団第1部　工藤　鉄平
第3分団第2部　本願　和茂
第2部　佐藤　友仁
第2部　佐藤　公彦

1月5日、令和7年消防出初式が行われました。

三田井中心部での分列行進のあと、町総合公園陸上競技場にて、観閲や通常点検、発水試験が実施されました。

式では、消防活動において功績のあった団員や協力をいただいたご家族に対して、賞状や感謝状が贈られました。

100歳のお誕生日 おめでとうございます

小川 ムツ子さん（大正13年12月18日生）

小川ムツ子さんが、めでたく100歳を迎えられました。

ムツ子さんは、8人兄弟の長女として熊本県球磨村で生まれました。学校卒業後は、家の農業を手伝うなどし、19歳で義徳さん(12年前に他界)と結婚。南満州鉄道職員であった義徳さんとともに満州国へ渡り暮らしました。

満州国で終戦を迎え４年程暮らした後、故郷の熊本へ戻り、農業をしながら４人の子どもを育て、現在は、孫8人、ひ孫8人に恵まれています。

子の義孝さんは、6年程前に高千穂へ移住してこられ、それまで一人暮らしをしていたムツ子さんを２年前に迎え、高千穂でいっしょに暮らすようになりました。

ムツ子さんは、好き嫌いがなく何でもよく食べ、特に甘いものが好きなようです。また、ぬり絵が上手で計算や漢字が得意とのこと。特に四字熟語に関しては、みんなが知らない言葉をよく知っているとのことです。

ムツ子さんは現在、施設に入られていますが、子の義孝さんは「1日でも長生きをして長寿を全うしてほしい」と話しました。

野尻 壽枝さん（大正14年1月1日生）

野尻壽枝（ひさえ）さんが、めでたく100歳を迎えられました。

壽枝さんは、6人兄弟の長女として三田井(神殿)で生まれました。

学校を卒業後は、国民学校で先生として沖縄から疎開してきた子どもたちを正念寺(田原)で教えていました。

23歳で、役場職員の濟好（すみよし）さん(12年前に他界)と結婚。

壽枝さんは、牛の世話や野菜・しいたけをつくるなど農業をしながら、子ども3人を育て、現在では、孫10人、ひ孫10人に恵まれています。

壽枝さんは、好き嫌いがなく何でもよく食べるとのことです。濟好さんが退職後に本格的に始めた養魚場を手伝いながら農業を行い、大正琴や畑で作った野菜で漬物を作ったりすることを趣味にしていたそうで、一時もじっとしていないくらい体を動かしていたことが健康の秘訣ではないかとのことでした。

壽枝さんは現在、施設に入られていますが、養魚場を引き継がれている子の敏憲さんは「これからも健康で長生きをしてほしい」と話しました。

これからもお元気でお過ごしください